

なからぎの森

No.10

2022.4.23

発行元：京都府立植物園整備計画の見直しを求める会
(通称：なからぎの森の会)

〒606-0851 京都市左京区下鴨梅ノ木町 62-2

北山エリアの開発には 選挙期間中は、「だんまり」 選挙が終わったら、「植物園に着手」?!

京都府知事選にあたって、北山エリアの将来を考える会では候補者に公開質問状を出しました。3月23日の回答期限までに、かじかわ憲候補からは回答がありましたが、西脇隆俊候補からの回答はありませんでした。(詳しくはなからぎの森の会のホームページ <https://nakaraginomori.com> をご覧ください。)

知事選期間中に京都新聞の質問「北山エリアにさらなるにぎわいが必要と思いますか？」に対して、かじかわ候補は「全くそう思わない」、西脇候補は「どちらともいえない」と答えました。

それなのに、知事選が終わった途端、西脇氏は「植物園を最初に着手したい」と述べました。これは府民に対するだまし討ち、選挙制度・民主主義に対する冒とくです。

最初の北山エリア整備基本計画では、アリーナの工事を最初に行い、植物園はその後となっていたのに、突然「最初に着手」とはなぜなのでしょう？ 全体の計画も決まっていないのに、植物園を植物園でなくす開発の必要はありません。

当初の開発費だけで北山エリア全体で総額 350 億円、その後 30 年間のコスト(赤字分)を入れると 605 億円の経費がかかります。これらは府民の財政負担となってくるのに、府民を騙して取り掛かるとは許すことができません。6月府議会での予算審議もあるので、引き続き大勢の府民・市民の声を集めてこの計画の見直しを、追求していきます。

3月22日京都府に第4次署名提出をし、署名は総数13万筆を超えました。

提出時に対応した中地局長は、3月10日に府が公表した案は、コンサルタント会社からの報告である。京都府として見直しをせねばならないこともあるので、これから検討し府の案を出す。これについては、住民とも懇談し、説明していくと述べました。必ずこの約束を守ってください。

北山エリア学習・交流集会 ～いりまへん！巨大アリーナ 植物園の商業化～

5月21日(土)13時30分～16時 京都学・歴彩館小ホール

- 全国のスタジアム・アリーナ改革について(尾林芳匡弁護士)
- 北山エリア整備計画の問題点 ○ 全国の運動との交流など

植物園を守れ、北山エリア開発はストップを、と 300 名でパレード



北山通りを行くパレード

3月13日(日)北山エリア整備基本計画の見直しを訴えて、北大路橋から北大路通り→下鴨本通り→北山通り→植物園北山門までパレードをし、約300名で行進しました。

西脇府知事は3月23日の公開討論会で「住民の声を聞くだけでなく、関係者の声を聞くことが大事」と述べました。知事は関係企業の声よりも、府民のこの大勢の声を先ず聞いてください。

行進の画像は、
なからぎの森の会のホームページ
<https://nakaraginomori.com> から IWJ
の実況で見ることができます。



北大路通りを行く「植物園守れ」の行進

★ 京都府立大学の学生、卒業生、教職員などの有志で Change.org のネット署名を立ち上げました。下記の QR コードから、または「大学内に巨大商業アリーナはいらない」で検索して、賛同署名をお願いします。

植物園署名	87,973 筆
北山エリア署名	17,946 筆
植物園を守る会	16,927 筆
北区の会	5,007 筆
府立大学にアリーナはいらないネット署名	6,102 筆

合計 133,955 筆(4月22日現在)
20万筆を目指して集めます。

植物園ネット署名はこちらから ↓



府立大学ネット署名はこちらから ↓



★「呼びかけ人・賛同者メッセージ集」200円で頒布しています。京都府立植物園はどうあるべきかを知るのに役立ちます。